



# つけかえ前の大和川

今から6000年ほど前、大阪平野の奥深くまで海が広がっていました。その後、海面の低下と、南からは大和川、北からは淀川が大量の土砂を運んできたため、少しずつ平野が広がっていきました。大和川は、もとは洪水のたびに流れを変えるような川だったので、やがて流れが固定されるようになりました。しかし、そのために川底に土砂がたまるようになり、川底が周囲の土地よりも高い天井川となっていきました。こうなると、洪水が起こったときの被害はさらに大きくなります。このようななか、<sup>いまごめ</sup>今米村<sup>なか じんべえ</sup>の中甚兵衛ら農民を中心に大和川の付け替えを求める運動がはじまり、その運動が少しずつ広がっていきました。



江戸時代末の大和川と築留のようす 『河内名所図会』より

# 大和川のつけかえ後

大和川のつけかえによって、もとの大和川沿いの村々には洪水の心配もなくなりました。また、きゅうかわどこ 旧川床や ふこうのいけ 深野池、しんがいいけ 新開池などは新しく田畑として開発が行われました。このように新しく開発された田畑の事を しんでん 新田とといいます。新田では もめん 木綿が多く さいばい 栽培されました。

しかし、新しい大和川沿いの村々にとってはそのようにいきませんでした。村々の約270ヘクタールが新たに川床となり、しんかわ 新川によって村が南北に分けられてしまったところも出てきました。にしよけがわ 西除川・ひがしよけがわ 東除川の流れが変わったことで、水はけが悪くなり、それまでよりも多くの洪水の被害を受けるようになりました。新川の かこう 河口になった堺の町は古くからの みなとまち 港町でしたが、新川によって流されてきた土砂によって埋め立てられ、大きな船が港にはいることができなくなりました。

このようにつけかえによって迷惑を受けた人がいたことも忘れてはいけないことでしょう。



# つけかえ工事はどのように行われたのか

げんろく  
元禄16年(1703)10月に大和川のつけかえが決定され、次の年、ほうえい がんねん  
宝永元年(1704)2月には早くも工事にとりかかりました。工事は幕府といくつかの藩が分担して進められ、できるだけ川底を掘り下げずに  
ていぼう  
堤防を盛り上げることによって川をつくるというものでした。それでもうりわり あさか  
瓜破や浅香では台地を掘り下げなければなりません。また、堤防の南側に  
おちぼりがわ にしよけがわ  
そって、排水のために落掘川をつくったり、西除川をつつけかえたりする工事も行わなければなりません。こうして川幅180m、長さ14.3kmという新しい大和川ができあがりしました。それも工事を始めてから7ヶ月半、10月13日には完成するというスピード工事でした。



大和川付替え工事想像図 (八尾市立歴史民俗資料館提供)

# 中甚兵衛はこんな人

なか じんべえ ひがしおおさか いまごめ かわ  
中甚兵衛は、1639年に今の東大阪市今米にあたる河  
ちのくに  
内国河内郡今米村で生まれました。甚兵衛のお父さ  
んの名前、また何人の兄弟がいたかもわかりません  
が、<sup>たろう</sup> <sup>べえ</sup>太郎兵衛というお兄さんがいたことだけはわ  
かっています。19才(1657年)になると江戸(東京)に  
旅立ち、そこで16年間も住むことになりましたが、その  
理由は、大和川のつけかえを江戸幕府<sup>ばくふ</sup>にお願いする  
ためだったとも考えられています。35才になって  
今米村にもどり、結婚して男の子一人と女の子二人  
が生まれました。その後も甚兵衛は、今米村の庄屋を<sup>しょうや</sup>  
つとめながら、<sup>そね</sup> <sup>さぶろう</sup> <sup>えもん</sup>曾根三郎右衛門や<sup>やまなか</sup> <sup>じろ</sup> <sup>べえ</sup>山中治郎兵衛らと  
ともに、たびかさなる大和川の洪水と農民の苦しみを  
目の当たりにして、大和川つけかえのお願いを続  
けました。そして19才で江戸に向かってから46年  
たった65才(1703年)の時、ついにつけかえがみとめ  
られ、次の年には工事も行  
われました。甚兵衛は、67  
才で庄屋や新田開発の仕  
事もやめ、92才でなくな  
りました。



中甚兵衛の肖像画 (中甚兵衛十代・中好幸氏所蔵)

# 柏原市立歴史資料館

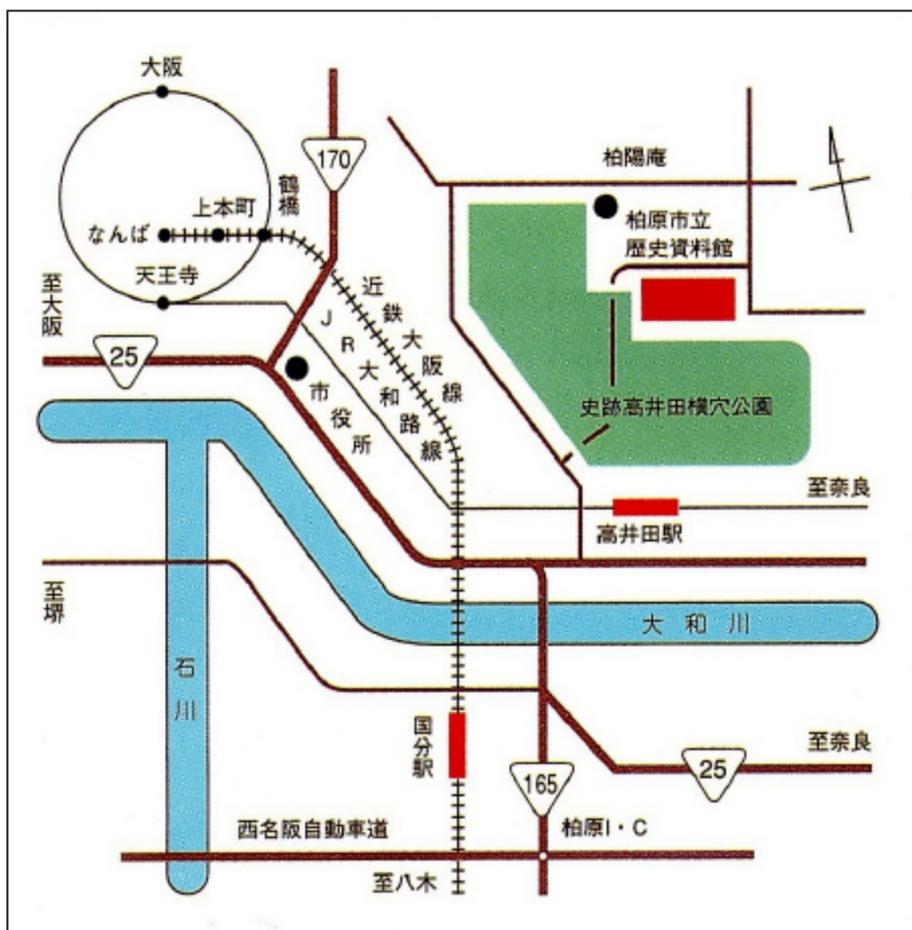
柏原市立歴史資料館は、柏原市の歴史・文化財をみなさんに知っていただくために、平成4年に開館しました。市内から出土した考古資料を中心に近世の柏原を語る古文書、市民から寄贈していただいた民具などを展示しています。柏原市や河内に関するテーマによる企画展も年4回開催しています。

資料館に隣接する史跡高井田横穴公園は、国史跡の高井田横穴群を史跡公園として整備・公開しています。古墳の一つの形態である横穴は、大阪では柏原市にだけ見られるものです。また、公園内には初期の横穴式石室をもつ高井田山古墳もあります。

## 柏原市立歴史資料館

大阪府柏原市高井田1598-1

TEL 072(976)3430 FAX 072(976)3431



### ■ 休館日

月曜日・年末年始  
(12月29日～1月5日)

### ■ 開館時間

9時30分～16時30分

### ■ 入館料

無料

### ■ 交通

JR 関西本線  
「高井田」北へ徒歩5分  
近鉄大阪線  
「河内国分」北へ徒歩15分